

SkyPDF 2010 Standard/Professional 補足説明

【製品全般に関する事項について】

■ 英語 OS を使用する場合について

1. 東アジア圏以外の Windows XP で本製品を使用する場合は、そのままでは日本語が表示できないため、以下の手順を実施して下さい。

「Control Panel」の「Regional and Language Options」の「Language」タブで、「Install files for East Asian languages」を選択して下さい(フォントのインストールには OS のインストール CD が必要です)。

東アジア圏の日本以外の Windows XP の場合は、「Control Panel」の「Regional and Language Options」の「Advanced」タブで、「Japanese」を選択して下さい。

■ 製品のインストールについて

1. 以前のバージョンの SkyPDF Viewer がインストールされたままの状態では本製品をインストールすると、「プログラムの追加と削除」に SkyPDF Viewer が残ったままの状態になり、削除できなくなります。以前のバージョンの SkyPDF Viewer をアンインストールしてから、本製品をインストールするようにして下さい。
2. アップグレードインストールの際は、SkyPDF Pro Driver の設定は引き継がれませんので、現在の設定値を別途メモしてから実施し、アップグレードインストール後、SkyPDF Pro Driver を設定してください。
3. Office2000 は動作保証外ですが、Office2000 に SkyPDF ツールボタンを導入すると、Office2000 自体にエラーが発生しますので、導入しないようお願い致します。

■ 製品版への変更について

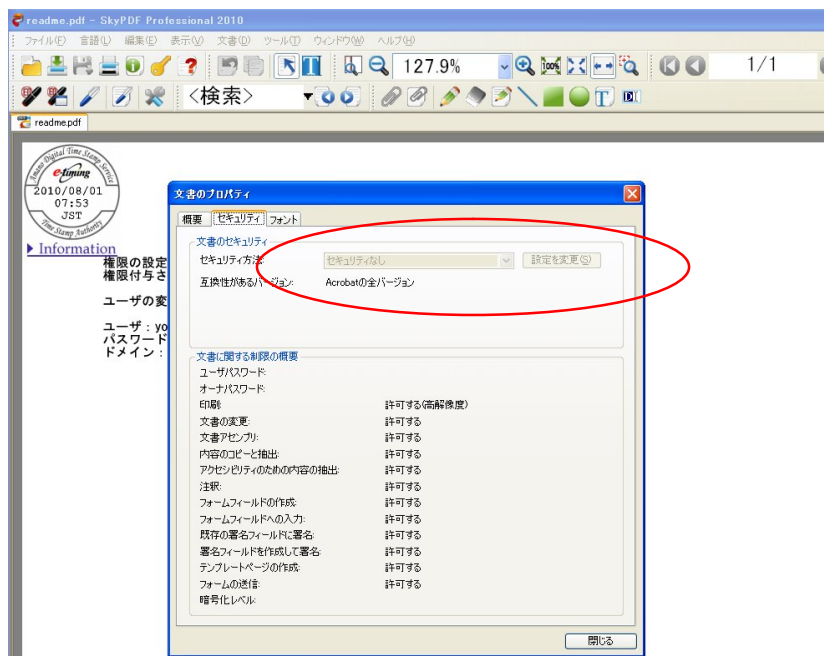
1. 製品版への変更を行う場合は、以下の手順で行って下さい。
 - <SkyPDF Standard もしくは SkyPDF Professional から行う場合>
SkyPDF Standard もしくは SkyPDF Professional のデスクトップアイコンをダブルクリックし、「ヘルプ」メニューの「ライセンスの認証」よりシリアル No を入力します。
 - <SkyPDF Driver から行う場合>
SkyPDF Driver のデスクトップアイコンをダブルクリックし、「バージョン情報」タブの「製品版への変更」ボタンよりシリアル No を入力します。

【PDF の表示機能に関する事項について】

■ 署名とセキュリティについて

1. 署名されている PDF にはセキュリティをかけることができません。

署名されている PDF を開くと、以下のように“セキュリティをかける”ボタンが押せなくなっています。



■ 表のコピーについて

1. ツールバーのテキスト選択ボタンから PDF 上のテキストを選択し、右クリックで[テーブルとしてコピー]を選択し、Excel に貼り付ける場合、以下の結果となります。

• Excel に貼り付ける際に[形式を選択して貼り付け]する場合、XML スプレッドシート形式を選択するとフォントサイズが反映された形でコピーされ、Ctrl+V 等で普通に貼り付けた場合、XML スプレッドシート形式で貼り付けられます。また、貼り付ける際に[テキスト]または[Unicode テキスト]を選択するとフォントサイズは未反映のまま貼り付けられます。

• 空白セルは無視されるため、例えば、文字セル 1+空白セル+文字セル 2 の横並びをコピーした場合、Excel に貼り付けた結果は、文字セル 1+文字セル 2 となります。

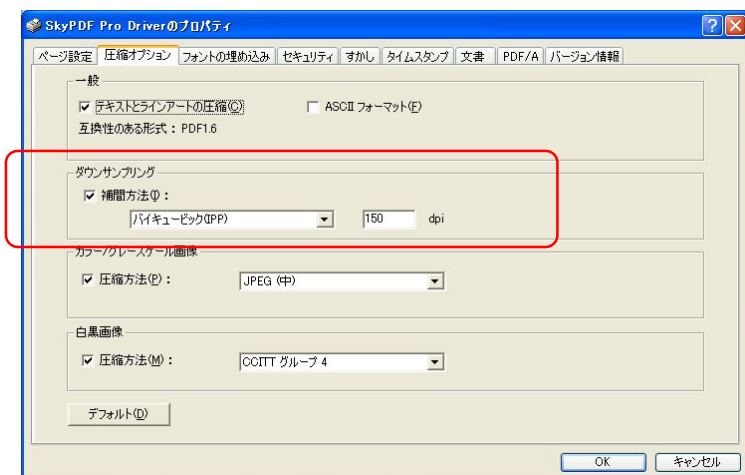
• 別セルの判断が 2 文字以上の空白文字で実施しているため、PDF 表示のエリアとして表内の文字の末尾に 2 文字分以上の空白が無い場合は、Excel に貼り付けた結果が同じセル内となります。

• 次の行という判断が、前の文字列の下の位置という判断で実施しているため、PDF 表示のエリアとして表内の文字列の位置が下に位置する文字列は、Excel に貼り付けた結果が次の行となります。

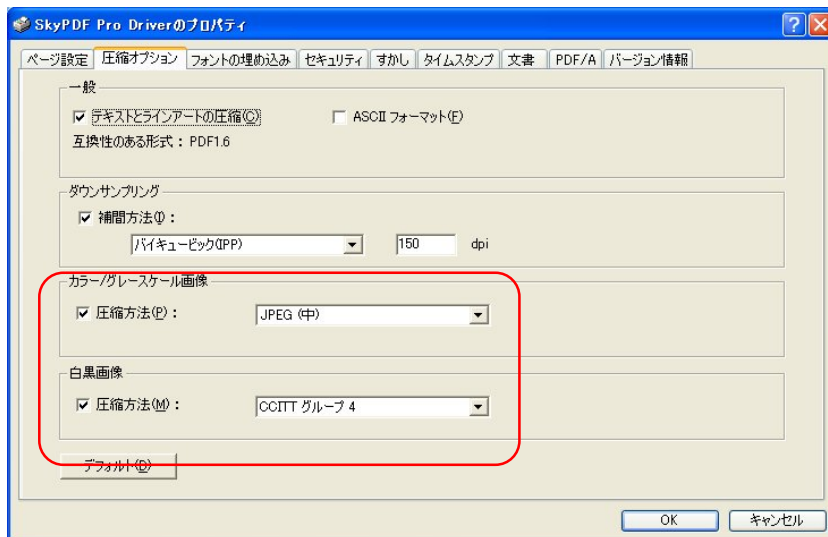
【PDF 作成機能に関する事項について】

■ 署名とセキュリティについて

1. ダウンサンプリングの初期設定は、「バイキュービック(IPP)」となっています。
PDF 作成の速さ、画質いずれかを優先させたい場合は、ユーザマニュアルの「3.3.3 章 ■画像のダウンサンプリング」を参考に、ダウンサンプリング方法の変更を行って下さい。



2. アプリケーションや環境によって、適用される圧縮オプションの方式が異なる場合があります。
例えば、「ペイント」で同一の TIFF 画像を PDF 作成しても、32 ビット OS では「白黒画像」の設定が有効になり、64 ビット OS では「カラー/グレースケール画像」が有効になる場合があります。



以上